

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 COVID-19にみられる神経症状や神経疾患の実態に関する研究（主に脳神経内科医師に対するアンケート調査）

【研究全体責任者】 水澤 英洋 （理事長）（国立精神・神経医療研究センター）

【研究当院責任者】 星野 晴彦 （副院長）

【本研究の目的及び意義】

日本におけるCOVID-19発症患者さんにみられる神経症候（神経疾患）の種類、頻度といった実態を調査します。結果を社会へ還元し、日本や世界におけるCOVID-19患者の治療に貢献することを目指します。

COVID-19の診療経験のある、主に脳神経内科医を対象にアンケート調査を行い、COVID-19発症患者さんの臨床情報を収集します。オンラインのアンケートフォームで、情報を収集します。患者さん個人の情報は含みません。データは鍵のかかるキャビネットなどで厳重に保管します。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2019年1月1日より2021年8月31日までの間に、COVID-19を発症し、脳神経内科の診療を受けた患者さんが対象となっています。

利用する試料・情報等

情報等：診療録（年齢、性別、診断名、コロナウイルス検査の検査結果など。個人を特定できる生年月日、住所などは含みません）

研究期間

2020年6月15日より2022年3月31日まで

2020年7月

○問い合わせ窓口

東京都済生会中央病院 脳神経内科 星野晴彦 Tel. 03-5445-6769